



スマート保育園[®] 通信

2021年度

5 月号

特集

個人面談、アンケート、etc… 保護者コミュニケーションを変える 「なるほど！」ICT活用事例

～社会福祉法人聖光会 国立クムクム保育園の事例
～社会福祉法人鐘の鳴る丘友の会 認定こども園さくらの事例

コラム
保育者からの贈り物

特集

コロナ禍で保育現場に保護者を集めたり、ちょっとした意見を聞く機会が難しい昨今ですが、ICTを活用してより保護者が参加しやすく実践している園があります。

そこで、今回は実際に園で行われているアイデアをご紹介します。

個人面談を「ZOOM」で実践し、働く保護者がより参加しやすい開催へ 社会福祉法人聖光会 国立クムクム保育園の事例

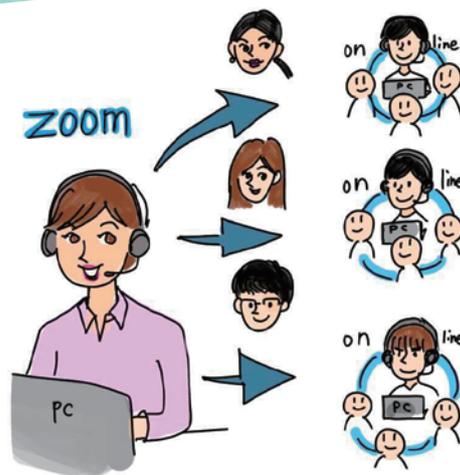


▲国立クムクム保育園（東京都国立市）

国立クムクム保育園では、聖光会の理念である「アタタカイヤリトリ」を大切にしているため、保護者との対面での対話を重視しています。しかしコロナ禍で「保護者とじっくり話ができない…」「じっくり話ができる保護者会も実施するべきか…」と悩ましい状況が続きました。そんな中で対話の機会を失わないようチャレンジして取り入れたのが、ZOOMを使ったのオンライン個人面談でした。ZOOMとは、どこからでも参加できる、複数人で同時参加可能なウェブ会議ツールで、ビジネスシーンではよく使われているものです。

実施にあたっては、保護者へ事前に確認し、問題なかったため導入を決定。ZOOMでは発行したURLを参加者に送るとオンライン会議に参加することができるので、URLをキッズリーの「園からのお知らせ」機能を使い保護者へ連絡しているそうです。

会当日は、ZOOMのブレイクアウト機能を使い、各クラスでブレイクアウトルームをつくり、ZOOMにはいつてきた人をブレイクアウトルームへ振り分けて開催。



実施してみて、以下のような手ごたえを感じたそうです。

- 普段忙しくて参加しづらい保護者からは、参加しやすいと好評
- 普段は参加できない父親も参加できた
- 家庭で子どももいるなかで行うので、子どもが家庭でどのように過ごしているかがわかってよかった

「実施できるかどうか不安でしたが、やってみたら何も大きな問題もありませんでした」と秋山先生は振り返っていらっしゃいました。

行事の出欠などには Googleフォームを活用して、保護者も保育者も負担軽減

社会福祉法人鐘の鳴る丘友の会
認定こども園さくらの事例



▲認定こども園さくら（栃木県栃木市）

認定こども園さくらでは、保護者参加イベントの出欠確認・協力や用品販売などをGoogleのアカウントをもっていれば無料で利用できる「Googleフォーム」という機能を使って行っています。

たとえば運動会や発表会などのイベントで保護者に出欠をとる際は、出欠を聞くアンケートをGoogleフォームで作成。そのアンケートのURLをキッズリーの「園からのお知らせ」で配信したり、URLにとべるQRコードを作成し、各クラスの扉にQRコードを貼り、保護者が自分のスマートフォンでQRコードを読み込めば応えられるようにしたりするなど、工夫をしています。



▲土曜保育の出欠を取るためのGoogleフォームを作り、そのリンクをキッズリーのお知らせにはりつけて保護者に配信している

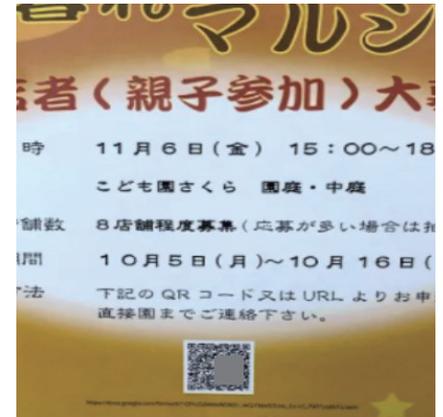
また、用品の販売についても、在園時にはイベントの出欠と同様、Googleフォームのアンケートをキッズリーの「園からのお知らせ」で配信したり、まだキッズリーの登録がそろっていない新入園児には、QRコードを教室の壁にもはりつつチラシに打ち出して配布するなど、保護者の状況にあわせてアンケートへ飛びやすいよう連絡しているそうです。

Googleフォームでイベント等の出欠をとると、フォームで回答された内容がスプレッドシートに自動で起票されるので、いちいち紙を回収して一覧に入力するなどの手間がかかりません。

Googleフォームのアンケートもウェブ上で簡単に操作できるため、保育者が作

成・集計作業をしなくても、出欠の把握ができ、コミュニケーションコストの削減ができるといえます。

保護者からも、開始した当初は問い合わせを受けることはあったものの、ウェブ上で完結できることに利便さを感じている保護者がほとんどで、クレームも発生していないようです。



▲イベントのチラシに、出欠確認を取るGoogleフォームのQRコードが入っている

保育園の保護者は
共働き家庭。そのため、このように
ICTを活用して保護者コミュニケーション
を図ることで、保護者の参加・利用のしやす
さだけでなく、実施する保育者側の負担も
軽減できる様子がわかりました。
導入しやすいものから始めて、
業務負担を減らすアイデアの
参考になれば幸いです。

保育者からの贈り物 Vol.9

「いつも自分のカバンをかけてくれるんですよ。1歳くらいだとそこまでしっかりやれないのにすごいですね」と先生に言われて、あれ、そんなことできたっけかな…?と思うようなことが、最近たくさん見つかります。

スピーカーから流れてきた音楽に合わせて踊りを踊り始めたり、いつの間にかスープをコップで飲むようになっていたり。いつの間にそんなことを覚えたのかと驚かされますが、自然に覚えたというか、ちゃんと保育園で教えて頂いてるんだろうと非常に感謝の気持ちが溢れます。

お迎えが遅くなる日は先生に髪をヘアゴムで留められて帰ってくるのですが、家だと彼女はまず我々にそんなこと許してくれません。活きのいいエビになるのが目に見えています。保育園の先生は何でこんなに子どもに色々と教えられるんだろう、そして娘も素直にそれを学んでいるのだろうと悩みつつ、連絡帳を読んでいると家で見せている顔を必ずしも園で見せているわけでは無さそうなので家では家なりの場所を準備してあげればいいのだろうと思直しています。

そんな日々ではありますが、朝の園でいつも親子でバイバイする小イベント（タッチしてバイバイしてお別れ）があり、こればかりは彼女も中空を見上げて頑なにやってくれません。先生の協力を得て、ある日突然やってくれるようになることが次の楽しみです。





全国の数百園のご応募の中から、スマート保育園®のモデル園11園が選出されました。

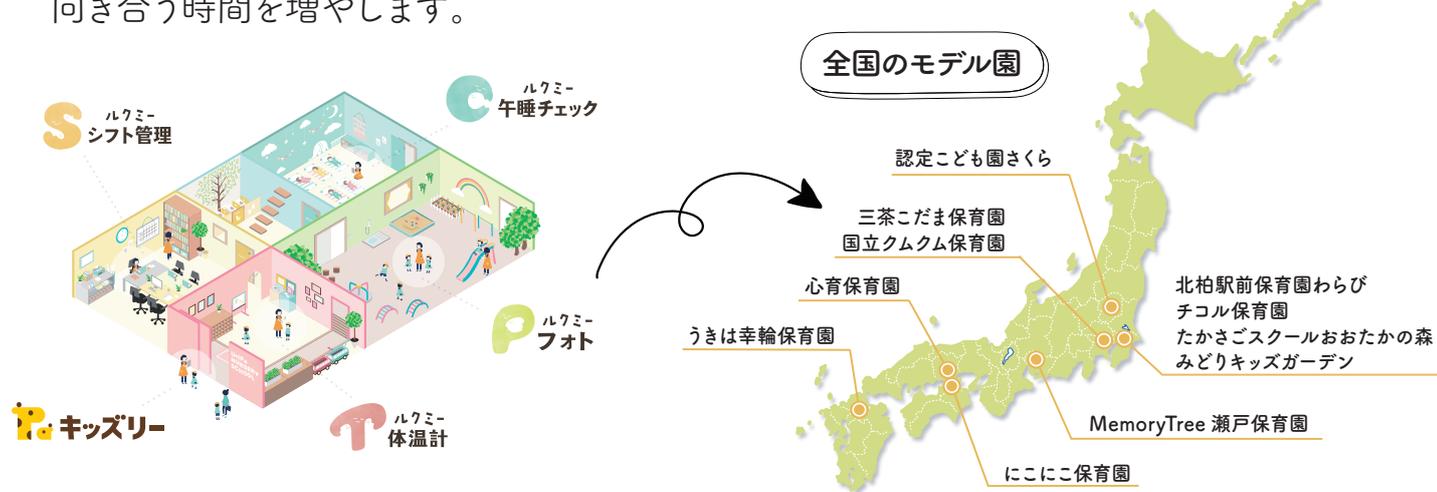
当園は、スマート保育園®のモデル園です。

スマート保育園®って？
 テクノロジーの支援で、
 保育者の「心」と「時間」にゆとりが生まれ、
 子どもと向き合うことに集中できる保育園です。
 お子さまと「もっと向き合いたい」という
 保育者の想いを支えます。

スマート保育園になると、子どもにとってはどう良くなるの？
 紹介動画をご覧ください

 ※お使いのカメラアプリで、QRコードが読み取れます。

1. 複雑な保育の現場業務を、見える化し、その中にひそむ課題を洗い出します。
2. ルクミーの全サービス*を全て導入して、園業務を効率化し、保育者がお子さまに向き合う時間を増やします。



3. 保育者へのオンライン研修や保育者ケアなど、保育の質向上への支援を受けます。



* テクノロジーによる業務支援サービス

- ルクミー 午睡チェック
- ルクミー シフト管理
- ルクミー フォト
- ルクミー 体温計
- ルクミー キッズリー

Creating new infrastructure for society that brings happiness to families around the world